

お取引先様用

含有化学物質調査マニュアル

Ver. 3

2018年5月

FDK株式会社

All Rights Reserved, Copyright © FDK株式会社 2018

目次

1. 調査目的	3
2. 調査適用範囲	3
3. 一般要求事項	3
4. 用語の定義	3
5. 調査内容	5
6. 調査書類への記入要領とその提出.....	6
7. お問い合わせ先	8

【改訂履歴】

添付資料

- 【別紙1】構成部位の事例
- 【別紙2】非含有保証書(様式001(年 月))
- 【別紙3】構成成分表(様式002(2015年3月))
- 【別紙4】構成成分表記入例

1. 調査目的

本調査は、FDKグループ指定化学物質リストに定められた要求事項を満足することを保証したFDKグループ(以下FDKという)製品を市場に提供するために、FDKの調達品及びその包装材に含有される化学物質を把握し、市場で要求される使用禁止物質のFDK製品への含有を防止することを目的としています。

2. 調査適用範囲

FDKの調達品とその包装材に適用します。但し、調達品に関する包装材についてはFDKからの依頼品のみを対象とします。

3. 一般要求事項

(1) 含有禁止物質

FDKの調達品及びその包装材は、FDKグループ指定化学物質リストに記載された含有禁止物質の「含有禁止基準」を全て満足していること。

(2) 含有化学物質情報の提供

お取引先様は、本マニュアルの記載内容に従って所定の調査書類を作成し、FDKに提出してください。

4. 用語の定義

(1) 調達品 (『FDKグループ指定化学物質リスト』では納入品)

FDKの製品を構成する全ての部品(原材料を含む)、副資材及び生産補助材。

(2) 製品

- ① FDKで設計・製造し、販売する製品
- ② FDKが第三者に設計・製造を委託し、FDKの商標を付して販売する製品
- ③ FDKが第三者から設計・製造の委託を受けた製品

(3) 包装材

FDKの調達品と製品のための包装、梱包及び荷造りなどの材料。
例として、ダンボール、インキ、塗料、包装用バンド、ラベル、接着剤等がある。

(4) 副資材

製品の機能を満たすために使用する材料。例として、粘着テープ、はんだ材料、接着剤、塗料(コーティング、めっきを含む)等がある。

- (5) 生産補助材
製品の機能と直接関係は無いが製品の製造過程で使用し、製品に付着されるもの。
例として、検査で使用したインキ（付着がある場合）、ラベル、仮固定用で使用したワックス/テープでの残留物質等がある。
- (6) 含有化学物質
FDKの調達品と製品及びこれらの包装材に含有されている化学物質。
- (7) 含有
化学物質が意図的であるか否かを問わず、FDKの調達品と製品及びそれらの包装材に、添加、充填、混入（不純物も含む。）または付着することをいう。
（製造プロセスにおいて意図せずに製品に混入または付着する場合を含む。）
- (8) 意図的添加
化学物質を特定の特性、外観、または品質をもたらすために、含有率に係わらず、納入品の形成時に故意に使用すること。
- (9) 素材
特定の使用目的をもって特定の位置に配置、形成されており、使用目的を達成する上でそれ以上分割できない納入品を構成する各々の均一材料、または均一と見なせる複合材料。
- (10) 不純物
天然素材中に含有され工業材料としての精製過程で技術的に除去しきれない物質、及び合成反応の過程で生じ技術的に除去しきれない物質。
- (11) 調剤
複数の物質からなる混合物または溶液。（例：接着剤、めっき液、塗料）
- (12) 化学品
化学物質及び／又は混合物。
- (13) 化学物質
天然に存在するか、又は任意の製造過程において得られる元素及びその化合物。
- (14) 混合物
二つ以上の化学物質を混合したもの。
- (15) 成形品
製造中に与えられた特定の形状、外見またはデザインが、その化学組成の果たす機能よりも、最終仕様の機能を大きく決定づけているもの。

(16) 許容値

異なる材料に機械的に分離できない材料（均質材料）中における対象含有化学物質の超えてはならない最大濃度を ppm で示したもの。

(17) 含有率

化学物質の濃度で、単位は[ppm]（質量比。1ppm は百万分の一）、または[wt%]（質量比。1wt%は百分の一）等を用いる。

（各指定化学物質における含有率算出の考え方は、各表の注釈を参照すること）

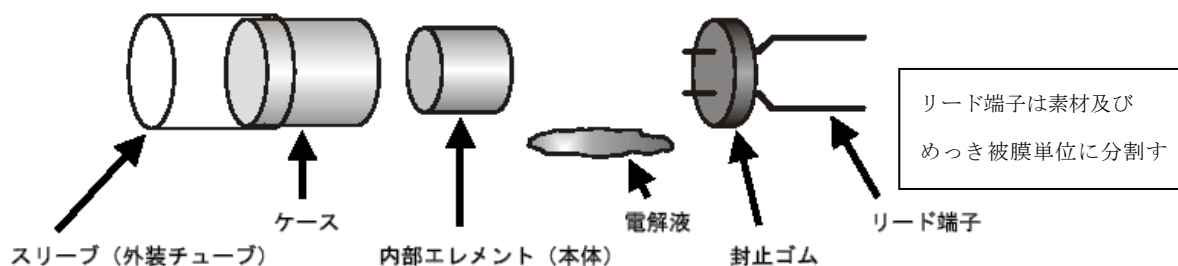
(18) 構成部位

部品を構成する一部分であり、異なる材料に機械的に分離できない材料（均質材料）部分をいう。

構成部位名は、納入仕様書、図面等に使用されている名称を使用する。

電気部品（抵抗器、コンデンサ等）を例とした構成部位を次に示す。

他の事例は【別紙1】を参照のこと。



(19) CAS No.

アメリカ化学会が作成したCAS (Chemical Abstract Service) の化学物質登録システムで使用している化学物質の登録No. CAS番号ともいう。

5. 調査内容

お取引先様のFDKへの納入品及びその包装材（FDKの調達品及びその包装材）に関する含有化学物質情報を把握確認され、その内容に基づき下記書類の作成と提出をお願い致します。

- (1) 非含有保証書（様式001(年 月)）・・・【別紙2】参照
- (2) 構成成分表（様式002(2015年3月)）・・・【別紙3】、【別紙4】記入例参照
- (3) JAMPが提供する含有化学物質調査票（chemSHERPA-AI または chemSHERPA-CI）
- (4) 分析データ(ICP分析データ, 原子吸光分析データ等)
- (5) SDS(安全データシート)等

6. 調査書類への記入要領とその提出

各調査書類への記入とその提出は下記の要領に従ってお願い致します。

(1) 非含有保証書(様式001(年 月))・・・【別紙2】参照

「お取引先様のFDKへの納入品及びその包装材に含有される化学物質が、FDKグループ指定化学物質リストに定められた要求事項を満足していることを保証していただく書類です。」

- ① 会社名, 所属, 役職 責任者名を記入して、社印を押印してください。
- ② 本保証書の記入担当部門(担当者)の情報として、住所, 部署, 担当者, 電話番号, E-mailを記入してください。
- ③ 通信欄(仕入れ先様→FDK)(対象製品の型番等)には、必要に応じて、「非含有保証の対象製品(群)」、または、「非含有保証の対象外となる製品(群)」を明記して下さい。(別紙添付で明記して頂いても結構です。)
- ④ 書類及びAdobe Acrobat 文書(pdf形式)での提出をお願いします。

(2) 構成成分表(様式002(2015年3月))・・・【別紙3】、【別紙4】記入例 参照

「お取引先様のFDKへの納入品及び包装材に関する、構成、成分、その使用目的等の一覧表です。含有される全ての化学物質の把握と市場での多くの含有化学物質調査への対応に有効な表です。」

- ① 納入品毎に作成してください。
- ② 納入品特定のため、FDK EDP KEY, FDK 品名, FDK 規格・図番等, 貴社品名(【別紙3】では弊社品名), 規格などを記入してください。
- ③ 記入日, 貴社名(【別紙3】では会社名), 部署名, 責任者名, 電話番号, E-MAILを記入してください。
- ④ 製品重量は, 単位をmgとして記入してください。
- ⑤ 構成成分表中の各項の説明と記入方法は次の通りです。
 - ⑤-1. 番号 : 部位ごとに連番を付与し, 記入してください。
 - ⑤-2. 構成部位 :
 - ⑤-2-1. 構成部位は, 均質材料(異なる材料に機械的に分離できない材料)とします。
 - ⑤-2-2. 構成部位名は, 納入仕様書, 図面等に使用されている名称を使用し, 記入してください。

[注意] 異なる構成部位として扱うものの例

 - a. 構造材や板金の母材である「金属」と表面の「めっき膜」や「クロメート皮膜」, 「塗装膜」
 - b. 成形された「プラスチック(合成樹脂)」と表面に印刷された「インキ」や「塗装膜」
 - c. プリント基板やLSIの配線に使用する「金属」と絶縁のための「樹脂」や「ガラス」
- ⑤-3. 物質名, CAS No. :
各部位の全ての構成成分を物質名, CAS No. で記入してください。なお, 各物質で該当するCAS No. がない場合は物質名のみで結構です。記入欄が足りない場合には、表中に行を挿入して記入してください。

⑤-4. 含有量:

構成部位物質の重量を単位はmgとして記入してください。なお、構成部位中の成分の合計含有量は、製品重量と一致させてください。

⑤-5. 含有目的:

次の中から選択して記入してください。

『主成分』, 『熱安定性向上』, 『加硫材』, 『顔料・着色剤』, 『難燃性向上』, 『加工性向上』, 『機械特性向上』, 『摩擦・磨耗性向上』, 『防錆性向上』, 『電気特性向上』, 『意図せずに含有』, 『その他(***)]』。

なお、『その他(***)]』の場合は、***に適切な目的を記入してください。

⑤-6. 分析データ(ICPなど):

各部位に関する分析データの整理番号を記入してください。(この整理番号はFDKに提出される分析データに貴社が付与された番号を意味します。)

⑤-7. SDS:

各部位に関するSDSの整理番号を記入してください。(この整理番号はFDKに提出される分析データに貴社が付与された番号を意味します。)

⑥ Microsoft Excel ワークシート(xls形式)での提出をお願いします。

[注記] 記入しきれない場合は表の行数を増やして記入してください。

(3) J AMPが提供する含有化学物質調査票

(chemSHERPA-AI または chemSHERPA-CI のどちらかを使う)

「J AMPが提供する調査票を使用した、お取引先様のFDKへの納入品及び包装材への含有状況に関する調査です。」

① 回答書式は、加工品・部品が対象の場合 ⇒ chemSHERPA-AI を、原材料・素材・化学物質の場合 ⇒ chemSHERPA-CI を選択してください。

② chemSHERPA-AI または chemSHERPA-CI のフォーマットは、下記のホームページより最新版をダウンロードして使用してください。

★ J AMP (アーティクルマネジメント推進協議会) <https://chemsherpa.net/>

③ 回答ファイルは、shai形式での提出をお願いします。

注) chemSHERPA-AI の遵法判断情報は、任意とします。

(4) 分析データ(ICP分析データ, 原子吸光分析データ, GC/MS分析データ等)

「下記化学物質の分析データです。構成成分表、調査票等への記入内容のエビデンスとなります。」

① 納入品の『構成部位』が以下の場合、『構成部位』毎に対象物質の分析データを提出してください。

①-1. 納入品が部品(原材料を含む), 副資材, 生産補助材で, 構成部位が『樹脂』, 『インキ』, 『塗料』の場合:

対象物質: カドミウム(許容値: 5ppm 未満), 鉛(許容値: 100ppm 未満)

分析方法: 各対象物質の定量限界が, その許容値であることを保証できる方法であれば特に指定しません。(参考)誘導結合プラズマ発光分光分析法(ICP-AES: JIS K0116 準拠)

①-2. めっきの『クロメート被膜』の場合:

対象物質: 六価クロム(許容値: 1000ppm 未満)

分析方法：対象物質の定量限界が、その許容値であることを保証できる方法であれば特に指定しません。

①-3. 納入品が包装材の場合：

対象物質：重金属(カドミウム・鉛・水銀・六価クロム)

(許容値：合計100ppm 未満)

分析方法：物質毎に5ppm未満を定量限界とする方法であれば特に指定しません。

② 分析データには、貴社の整理番号(例えば ICP001)を記入してください。

③ Adobe Acrobat 文書(pdf 形式)での提出をお願いします。

(5) SDS(安全データシート)等

「納入品の材料に含まれる成分が記載されたデータシートです。構成成分表、調査票等への記入内容のエビデンスとなります。」

① 納入品に関する SDS を明確にしてください。

② SDS には、貴社の整理番号(例えば SDS-001)を記入してください。

③ Adobe Acrobat 文書(pdf 形式)での提出をお願いします。

7. お問い合わせ先

ご不明な点などがございましたら本件に関する FDK の依頼元へお問い合わせください。また、本件に関する全般については下記までお問い合わせください。

〒431-0495 静岡県湖西市鷺津 2281 番地

FDK株式会社

コーポレート本部 ビジネス推進統括部 S C M部 購買管理課

電話番号： 053-576-2152

FAX 番号： 053-575-2526

E-MAIL : koubai@fdk.co.jp

品質保証統括部

電話番号： 053-575-2511

FAX 番号： 053-575-2615

— 以上 —

【改訂履歴】

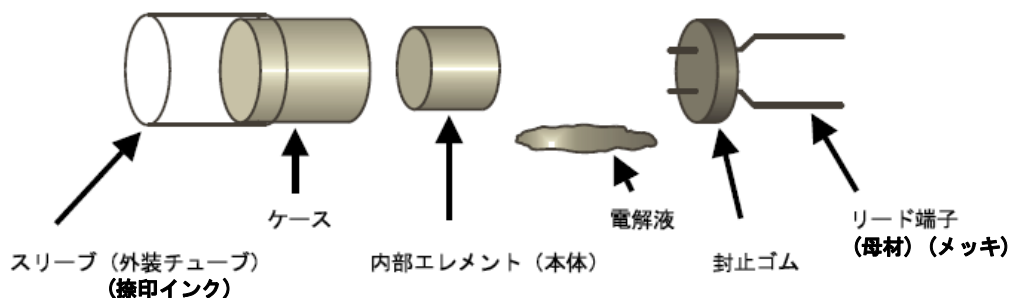
改訂年月	Ver.	改訂内容
2005年4月	1	制定
2005年8月	1a	製品重量、含有量等の小数点以下二桁までの記入制限の解除に伴う調査票・構成成分表の変更、及び非含有保証書、内容保証書の書類での提出を追加。
2007年7月	1b	含有化学物質管理基準（FDK508-01）改定第2版に対応（別紙1、別紙2、別紙4、別紙14を変更）。
2008年5月	1c	含有化学物質管理基準（FDK508-01）改定第3版に対応（別紙1、別紙2、別紙4、別紙14を変更）。
2010年7月	1d	FDKグループ会社一覧を削除 含有化学物質管理基準（FDK508-01）改定第4版に対応。 FDK含有化学物質調査票（マクロ付）及び回答記入説明書（マクロ付）を削除。 Q&Aを削除。 上記削除による別紙の番号を繰り上げ。
2015年4月	2	含有化学物質管理基準（FDK508-01）改定第5版に対応 ・用語の定義を追加及び変更。 ・非含有保証書の内容及び様式を変更。 ・構成成分表のFDK物質番号の記入欄を削除。 ・FDK含有化学物質調査票を廃止し、JAMPが提供する含有化学物質調査票に変更。 ・内容保証書を廃止。 ・MSDS（製品安全データシート）等をSDS（安全データシート）と名称を変更。 ・含有化学物質の関連法規及び規制等を削除 お問い合わせ先の環境技術部を品質保証統括部に変更。
2018年5月	3	JAMPが提供する含有化学物質調査票（chemSHERPA-AIまたはchemSHERPA-CIのどちらかを使う）に変更。

【別紙 1】 1/3

構成部位の事例

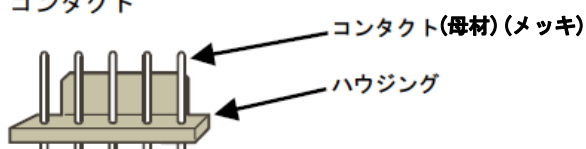
以下は、回答欄の構成部位の項を記載していただくにあたり、参考となる部位名称の事例集です。以下の構成部位を参考に他の部品類についても対象物質の含有量をお答え下さい。

【構成部位の事例 1】: 電気部品 (抵抗器, コンデンサ等)



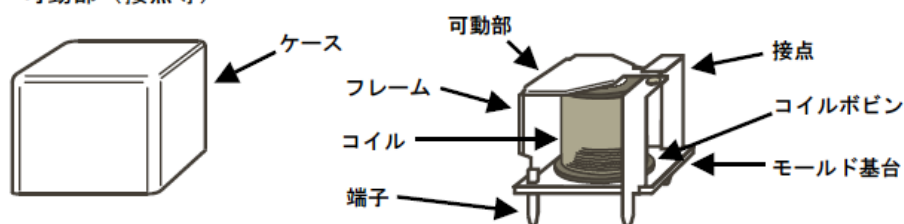
【構成部位の事例 2】 コネクター類

構成部位: ハウジング、コンタクト



【構成部位の事例 3】 スイッチ, リレー等、機構部分を持つ部品

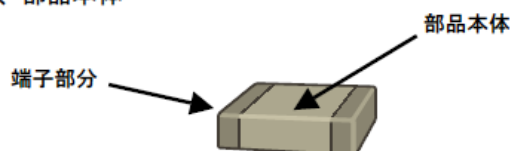
構成部位: 部品ケース (樹脂モールド等)、金属部分 (レバー、フレーム、端子等)、可動部 (接点等)



* 樹脂の難燃剤、接点の電氣的特性・潤滑などを目的とした特別な金属類 (合金) 等にご留意下さい。

【構成部位の事例 4】 表面実装型チップ部品

構成部位: 端子部分、部品本体

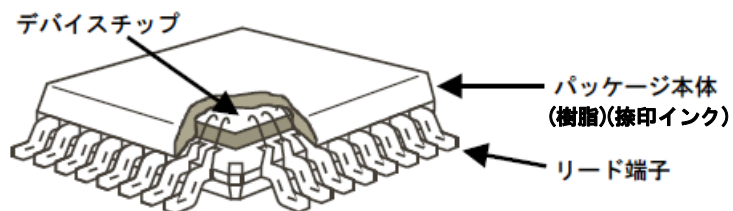


* 部品本体が複数材料で構成されており、該当物質が存在する場合、細分化して下さい。

例) 部品本体 → セラミック・内部電極

【構成部位の事例5】 半導体デバイス

構成部位：リード端子（リードフレーム等）、パッケージ本体（モールド樹脂等）、デバイスチップ（チップ、接着剤、ボンディングワイヤー）

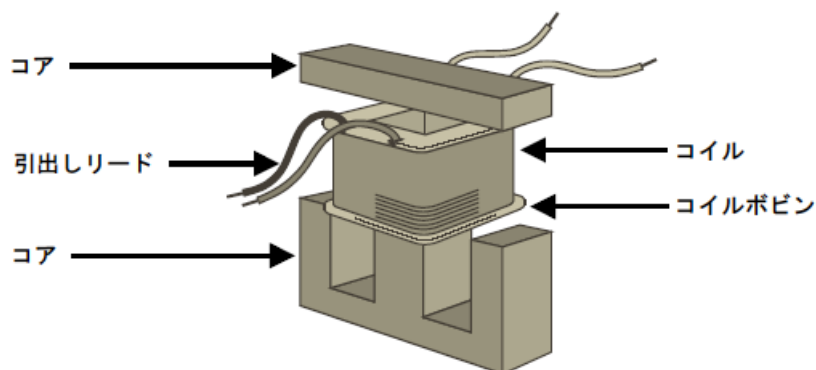


* パッケージ樹脂材料の難燃剤、リードの材質・処理にご留意下さい。

* デバイスチップについては、可能な範囲でお答え下さい。

【構成部位の事例6】 トランス、インダクタ類

構成部位：コア、巻線、ポピン、リード線、絶縁物、ケース・フレーム等

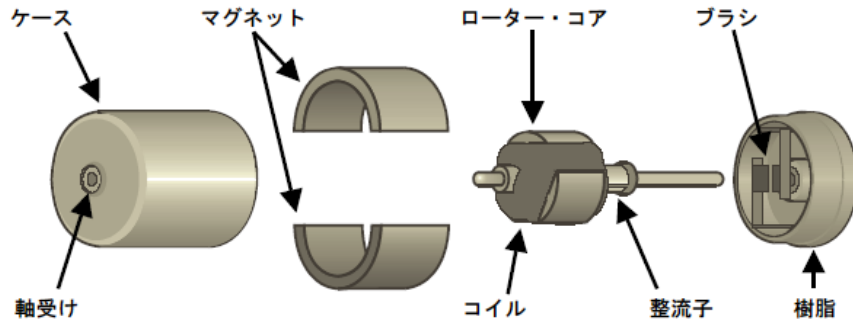


* 樹脂材料や絶縁部品の難燃剤、コイルの含浸剤、リード線のPVCや難燃剤にご留意下さい。

【別紙1】 3/3

【構成部位の事例7】 DCモーター

構成部位：部品ケース（樹脂モールド等）、金属部分（シャフト、ローター・コア、端子、フレーム等）、ブラシ等、マグネット、巻線、その他（捺印インク、グリース等）

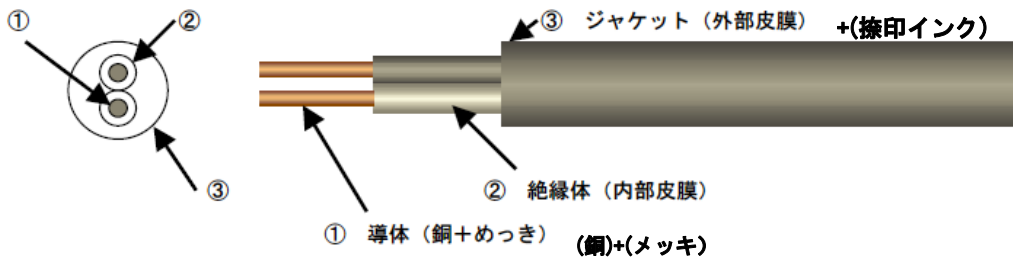


* 樹脂の難燃剤、整流子の電気的特性・潤滑などを目的とした特別な金属類（合金）等、また軸受け部のグリース等にご留意下さい。

* リード線、電子回路を含む場合等、それぞれの部位の含有量から部品1個の含有量を算出して下

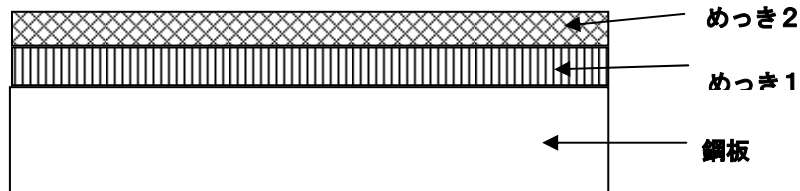
【構成部位の事例8】 電線ケーブル（電源コード）

構成部位：導体（銅+めっき）、絶縁体（内部皮膜）、ジャケット（外部皮膜） +（捺印インク）



【構成部位の事例9】 表面処理材（塗料、めっき等）

構成部位：母材、めっき1、めっき2・・・



表面処理が多層膜の場合、各々の層に細分化してください。

【別紙 2】

様式 001(年 月)

年 月 日発行

F D K株式会社 御中

非含有保証書

当社は、当社(当社の子会社・関係会社を含む)が、F D K株式会社に直接または第三者を通して納入する既存および新規の全ての製品または部品(付属品、包装梱包品、その他製品と共に納入されるものを含む)について、「F D Kグループ指定化学物質リスト (第 版)」に定められた要求事項を満足することを保証致します。

追加要求事項

会社名/

所属/

役職 責任者名/



* 本保証書の記入担当部門 (担当者) は以下の通りです。

住所/

部署/

電話番号/

担当者/

E-mail/

通信欄 (FDK→仕入れ先様) 必要に応じて、「非含有保証の対象製品(群)」、または、「非含有保証の対象外となる製品(群)」を下記通信欄に明記して下さい(別紙添付で明記して頂いても結構です。)

通信欄 (仕入れ先様→FDK) (対象製品の型番等)

※ 非含有保証の対象外となる製品については、速やかに情報を提供して下さい。

【別紙3】

様式002(2015年3月)

FDK株式会社

行き

構成成分表

FDK EDP KEY	
FDK品名	
FDK規格・図番等	
弊社品名	
弊社規格・図番等	
メーカー名	
製品重量(mg)	

記入日・(YYYY/MM/DD)	
会社名	
部署名	
責任者名	
電話番号	
E-MAIL	

番号	構成部位	物質名	CAS No.	含有量(mg)	含有目的	分析データ (ICPなど)	SDS	備考
合計含重量(mg)				0				

【別紙4】

様式002(2015年3月)

FDK株式会社

行き

構成成分表

FDK EDP KEY	
FDK品名	
FDK規格・図番等	
弊社品名	トランス002A
弊社規格・図番等	DDD-CCCC-10
メーカー名	ABC工業
製品重量(mg)	45000

記入日・(YYYY/MM/DD)	2005/8/1
会社名	DEF商事
部署名	電子部品部
責任者名	田中 太郎
電話番号	OXX-XXX-XXXX
E-MAIL	eee@aaa.co.jp

番号	構成部位	物質名	CAS No.	含有量(mg)	含有目的	分析データ (ICPなど)	SDS	備考
1	コア	酸化鉄	1309-37-1	2700	その他(成分)	-	MSDS001	
1	コア	四酸化マンガン	1317-35-7	2700	その他(成分)	-	MSDS001	
1	コア	酸化亜鉛	1314-13-2	12600	その他(成分)	-	MSDS001	
2	コアカバー	プロピレンホモポリマー	-	2751.96	主成分	ICP001	MSDS002	
2	コアカバー	三酸化アンチモン	1309-64-4	242.82	難燃性向上	ICP001	MSDS002	
2	コアカバー	有機ハロゲン化合物	-	1052.22	難燃性向上	ICP001	MSDS002	PBB、PBDE 以外
3	ベース	フェノール樹脂	9003-35-4	393.9	その他(成形 材)	ICP002	MSDS003	
3	ベース	紙	-	386.1	その他(成分)	ICP002	MSDS003	
4	線材(導体)	銅	7440-50-8	19601.4	主成分	-	MSDS004	
5	線材(絶縁体)	ポリウレタン樹脂	-	502.6	その他(絶縁)	ICP003	MSDS004	
6	接着剤	シリカ	7631-86-9	1200	主成分	ICP004	MSDS005	
6	接着剤	酸化チタン	13463-67-7	400	その他(成分)	ICP004	MSDS005	
6	接着剤	ジアルキルスズ化合物	-	20	その他(成分)	ICP004	MSDS005	
6	接着剤	その他	-	380	その他(成分)	ICP004	MSDS005	
7	ハンダ	錫	7440-31-5	68.48	主成分	-	MSDS006	
7	ハンダ	銅	7440-50-8	0.52	その他(成分)	-	MSDS006	
合計含有量(mg)				45000				

欄が足りない場合は、表中に行を挿入して記入願います。ただし、列の移動・挿入はしないよう願います。

表の最終行には、必ず「合計含有量(mg)」の表記をしてください

製品重量と合計含有量を一致させる